

第6 令和2年度企業会計決算の状況

企業会計は、県が独立採算性を原則とする企業的色彩の強い事業を行う際に、法律や条例によって設置するもので、地方公営企業法の全部又は一部の適用を受ける公営企業の会計をいいます。

企業会計は、公共の福祉を目的とするとともに、企業の経済性を発揮することも求められており、その経理については、地方公営企業法の定めるところによります。

この会計方式は、一般のいわゆる官公庁会計が現金主義により経理されるのに対し、発生主義に基づく複式簿記により経理される点で大きく異なっています。

三重県では、公共の福祉を増進するため、水道事業、工業用水道事業、流域下水道事業、病院事業、電気事業の5事業の経営を行っていますので、以下、それぞれの企業会計ごとに、その決算状況を説明します。

1 水道事業の概況

営業関係では、北中勢水道用水供給事業（北勢系・木曾川水系：給水能力80,300m³／日、北勢系・三重用水系：給水能力51,000m³／日、北勢系・長良川水系：給水能力18,000m³／日、中勢系・雲出川水系：給水能力81,416m³／日、中勢系・長良川水系：給水能力58,800m³／日）及び南勢志摩水道用水供給事業（給水能力139,850m³／日）の2事業を運営し、令和2年度は県内18市町に対し、延べ75,888,469m³の給水を行いました。

令和2年度の営業成績について、事業収益は9,134,234千円（対前年度比100.8%）で、内訳は、営業収益8,130,918千円（対前年度比99.2%）及び営業外収益1,003,316千円（対前年度比116.4%）であり、また、事業費用は8,762,651千円（対前年度比98.6%）で、内訳は、営業費用8,249,908千円（対前年度比97.6%）及び営業外費用512,743千円（対前年度比118.2%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額371,583千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業では、地震等の災害に備えるとともに水道用水の安定供給を図るため、北中勢水道用水供給事業及び南勢志摩水道用水供給事業において耐震化や老朽化対策などの施設改良を計画的に実施しました。

令和2年度損益計算書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	8,249,908	営業収益	8,130,918
原水及び浄水費	2,401,876	給水収益	8,110,422
配水費	599,528	その他営業収益	20,496
業務費	465,512		
総係費	338,039		
減価償却費	4,255,476		
資産減耗費	189,477		
営業外費用	512,743	営業外収益	1,003,316
支払利息	351,129	受取利息	1,077
受託工事費	156,289	他会計補助金	44,915
雑支出	5,325	受託工事収益	156,289
		長期前受金戻入	800,007
		雑収益	1,028
当年度費用合計	8,762,651		
当年度純利益	371,583		
合 計	9,134,234	合 計	9,134,234

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和2年度損益計算書<P/L>（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：千円、%（構成比））

借 方	貸 方
営業費用 8,249,908 (90.3%)	営業収益 8,130,918 (89.0%)
営業外費用 512,743 (5.6%)	営業外収益 1,003,316 (11.0%)
当年度純利益 371,583 (4.1%)	
合計 9,134,234	合計 9,134,234

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

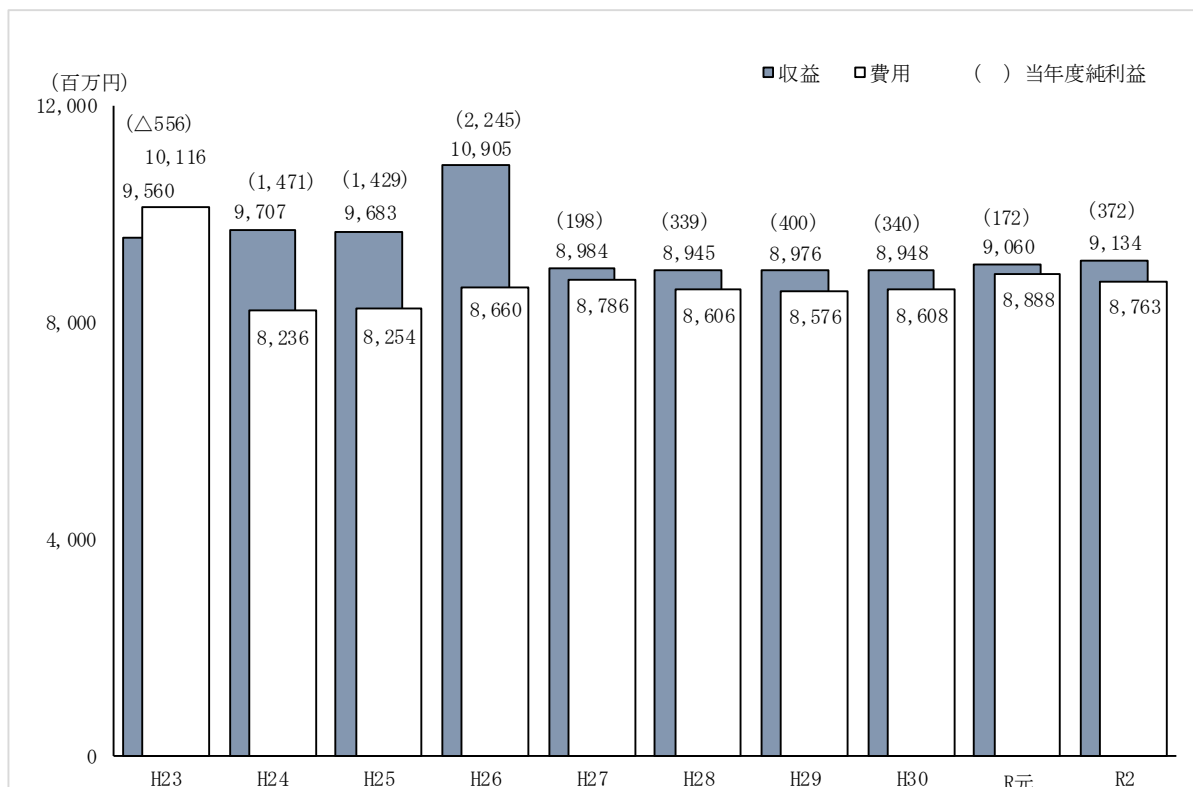
貸借対照表<B/S> (令和3年3月31日現在)

(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
固定資産 120,550,889 (91.1%)	固定負債 16,031,239 (12.1%)
	流動負債 2,375,389 (1.8%)
	繰延収益 22,179,367 (16.8%)
	資本金 90,364,771 (68.3%)
流動資産 11,812,237 (8.9%)	剰余金 1,412,361 (1.1%) 資本剰余金 869,153 利益剰余金 543,208
合計 132,363,126	合計 132,363,126

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

2 工業用水道事業の概況

営業関係では、北伊勢工業用水道事業（契約水量 754,990 m³/日）、中伊勢工業用水道事業（契約水量 14,370 m³/日）及び松阪工業用水道事業（契約水量 38,500 m³/日）の3事業を運営し、県内企業の生産活動における水需要に応えるため、令和2年度においては104工場に対し、延べ215,205,588 m³の工業用水を供給しました。

令和2年度の営業成績について、事業収益は5,767,490千円（対前年度比99.9%）で、内訳は、営業収益5,401,361千円（対前年度比100.1%）、営業外収益366,130千円（対前年度比96.7%）であり、また、事業費用は5,426,502千円（対前年度比100.1%）で、内訳は、営業費用5,229,113千円（対前年度比100.5%）、営業外費用197,389千円（対前年度比90.4%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額340,988千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業では、地震等の災害に備えるとともに工業用水の安定給水を図るため、北伊勢工業用水道等の老朽化施設の更新・補強工事など施設改良を計画的に実施しました。

令和2年度損益計算書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	5,229,113	営業収益	5,401,361
原水及び浄水費	1,811,146	給水収益	5,179,866
配水費	210,798	その他営業収益	221,494
業務費	340,344		
総係費	294,566		
減価償却費	2,467,045		
資産減耗費	105,213		
営業外費用	197,389	営業外収益	366,130
支払利息	192,523	受取利息	431
受託工事費	4,234	他会計補助金	3,490
雑支出	633	受託工事収益	4,234
		長期前受金戻入	353,586
		雑収益	4,389
当年度費用合計	5,426,502		
当年度純利益	340,988		
合 計	5,767,490	合 計	5,767,490

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和2年度損益計算書<P/L> (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
<p>営業費用 5,229,113 (90.7%)</p>	<p>営業収益 5,401,361 (93.6%)</p>
<p>営業外費用 197,389 (3.4%)</p>	<p>営業外収益 366,130 (6.4%)</p>
<p>当年度純利益 340,988 (5.9%)</p>	
<p>合計 5,767,490</p>	<p>合計 5,767,490</p>

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

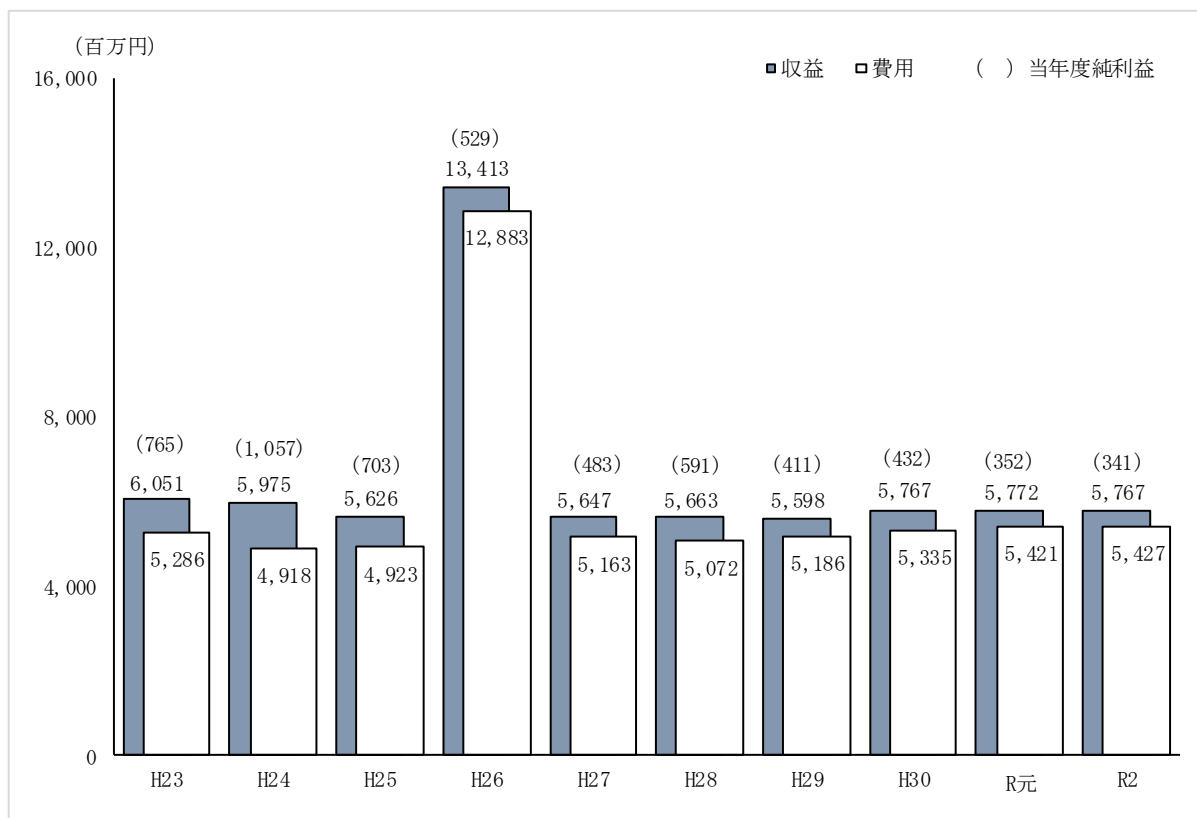
貸借対照表<B/S> (令和3年3月31日現在)

(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
	<p>固定負債 24,124,118 (20.1%)</p>
	<p>流動負債 1,390,286 (1.2%)</p>
	<p>繰延収益 16,930,623 (14.1%)</p>
<p>固定資産 111,290,562 (92.9%)</p>	<p>資本金 75,415,846 (63.0%)</p>
<p>流動資産 8,491,563 (7.1%)</p>	<p>剰余金 1,921,252 (1.6%) 資本剰余金 1,228,730 利益剰余金 692,522</p>
<p>合計 119,782,125</p>	<p>合計 119,782,125</p>

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

3 流域下水道事業の概況

営業関係では、北勢沿岸流域下水道事業（北部処理区：処理能力149,500m³/日、南部処理区：処理能力64,600m³/日）、中勢沿岸流域下水道事業（志登茂川処理区：処理能力11,300m³/日、雲出川左岸処理区：処理能力40,200m³/日、松阪処理区：処理能力39,000m³/日）及び宮川流域下水道事業（宮川処理区：処理能力26,800m³/日）の3流域6処理区を運営し、令和2年度は県内15市町からの汚水84,018,153m³を処理しました。

令和2年度の営業成績について、事業収益は13,070,854千円（対前年度比－％）で、内訳は、営業収益5,058,949千円（対前年度比－％）、営業外収益7,929,761千円（対前年度比－％）及び特別利益82,144千円（対前年度比－％）であり、また、事業費用は12,727,076千円（対前年度比－％）で、内訳は、営業費用11,974,389千円（対前年度比－％）、営業外費用660,070千円（対前年度比－％）及び特別損失92,618千円（対前年度比－％）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額343,778千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業では、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るため、流域下水道の整備を推進するとともに施設の老朽化対策など施設改良を計画的に実施しました。

※令和2年度から地方公営企業法の一部を適用しているため、前年度（令和元年度）の損益情報はありません。

令和2年度損益計算書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	11,974,389	営業収益	5,058,949
管渠費	30,058	維持管理負担金収益	5,037,406
ポンプ場費	87,883	その他営業収益	21,543
処理場費	3,985,661		
総係費	132,645		
減価償却費	7,625,846		
資産減耗費	92,091		
その他営業費用	20,204		
営業外費用	660,070	営業外収益	7,929,761
支払利息及び企業債取扱諸費	650,803	他会計補助金	777,620
雑支出	9,267	長期前受金戻入	7,110,710
		雑収益	41,430
特別損失	92,618	特別利益	82,144
その他特別損失	92,618	その他特別利益	82,144
当年度費用合計	12,727,076		
当年度純利益	343,778		
合 計	13,070,854	合 計	13,070,854

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和2年度損益計算書＜P/L＞（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：千円、%（構成比））

借 方	貸 方
	営業収益 5,058,949 (38.7%)
営業費用 11,974,389 (91.6%)	
	営業外収益 7,929,761 (60.7%)
営業外費用 660,070 (5.1%)	
特別損失 92,618 (0.7%)	
当年度純利益 343,778 (2.6%)	特別利益 82,144 (0.6%)

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

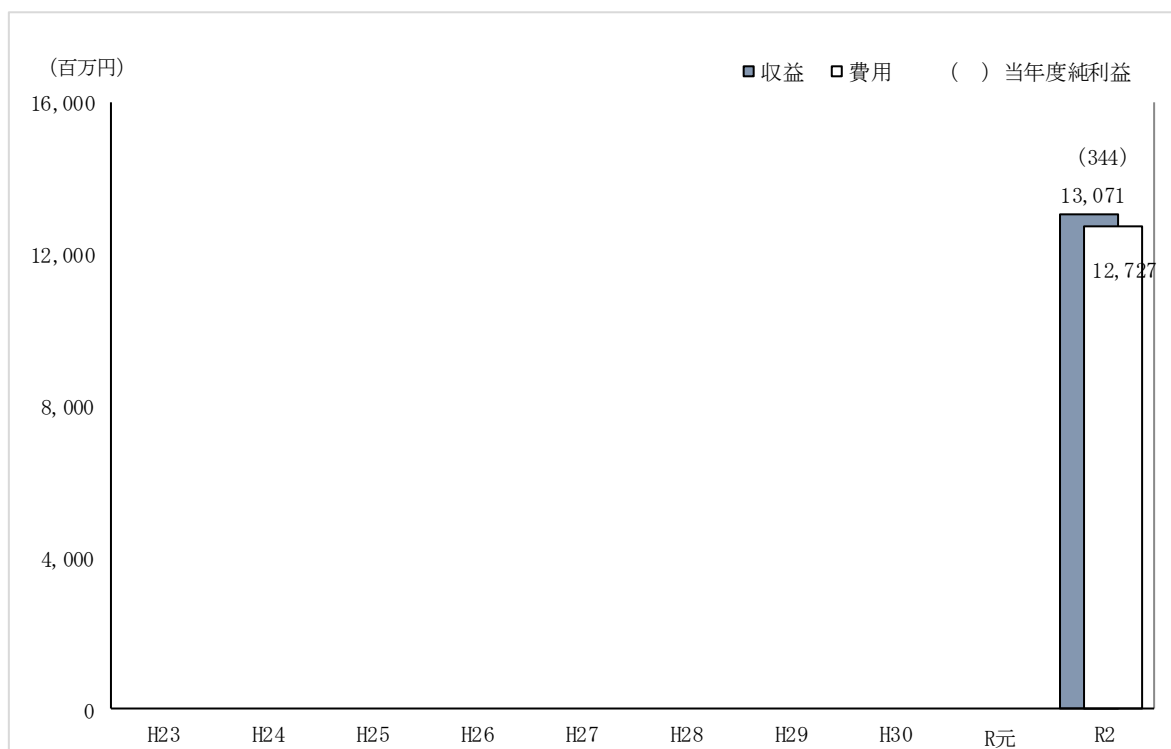
貸借対照表<B/S> (令和3年3月31日現在)

(単位：千円、% (構成比))

借方		貸方	
		固定負債	38,683,350 (16.1%)
		流動負債	5,955,803 (2.5%)
固定資産	236,325,440 (98.5%)	繰延収益	165,578,879 (69.0%)
		資本金	9,619,104 (4.0%)
流動資産	3,525,307 (1.5%)	剰余金	20,013,610 (8.3%)
		資本剰余金	19,669,833
		利益剰余金	343,778

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



※令和2年度から地方公営企業法の一部を適用しているため、前年度(令和元年度)以前の損益情報はありません。

4 病院事業の概況

三重県病院事業においては、こころの医療センター、一志病院及び指定管理者制度を導入している志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんや地域に信頼され、かつ医療従事者にとって魅力ある病院づくりを進めながら、良質で満足度の高い医療サービスを提供しているところです。

令和2年度は、こころの医療センターにおいては、県内の精神科医療の中核病院としての取組など、一志病院においては、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの取組など、それぞれの役割やニーズに応じた病院運営を行うとともに、経営の健全化に取り組んできました。また、志摩病院においては、指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会により、診療機能の充実を図りながら、志摩地域の中核病院としての取組を進めました。

これらの3病院の運営状況については、入院患者数が延べ157,621人（1日平均431.8人）、外来患者数が延べ123,289人（1日平均507.4人）で、前年度に比べ入院患者数は延べ23,768人の減少、外来患者数は延べ18,590人の減少となりました。

収益については、医業収益において入院及び外来収益が減少した一方で、医業外収益において一般会計からの繰入金等が増加したことなどから、経常収益は5,833,342千円となり、前年度に比べ10.4%増加しました。

また、費用については、医業費用において給与費等が減少した一方で、経費等が増加したことなどから、経常費用は5,392,427千円となり、前年度に比べ2.5%増加しました。

その結果、これらを差引した経常損益は440,915千円の黒字となりました。

なお、建設改良費については、こころの医療センターにおける厨房洗浄室改修工事や一志病院における第5診察室機能強化工事、志摩病院における病棟ナース系統空調機（ACU-11）ほか改修工事等により総額303,412千円を執行しました。

令和2年度損益計算書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
医業費用	5,170,492	医業収益	2,465,850
給与費	2,709,161	入院収益	1,870,838
材料費	261,665	外来収益	448,394
経費	1,605,447	その他医業収益	146,617
減価償却費	583,300		
資産減耗費	6,511	医業外収益	3,367,492
研究研修費	4,408	受取利息配当金	85
医業外費用	221,936	他会計補助金	137,379
支払利息及び企業債取扱諸費	95,073	長期前受金戻入	247,132
長期前払消費税償却	24,421	補助金	51,020
患者外給食材料費	135	負担金・交付金	2,721,254
雑損失	102,306	その他医業外収益	210,622
特別損失	0	特別利益	0
当年度費用合計	5,392,427		
当年度純利益	440,915		
合 計	5,833,342	合 計	5,833,342

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

損益計算書＜P/L＞（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：千円、%（構成比））

借 方		貸 方	
		医業収益	2,465,850 (42.3%)
医業費用	5,170,492 (88.6%)		
		医業外収益	3,367,492 (57.7%)
医業外費用	221,936 (3.8%)		
特別損失	—		
当年度純利益	440,915 (7.6%)	特別利益	—

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

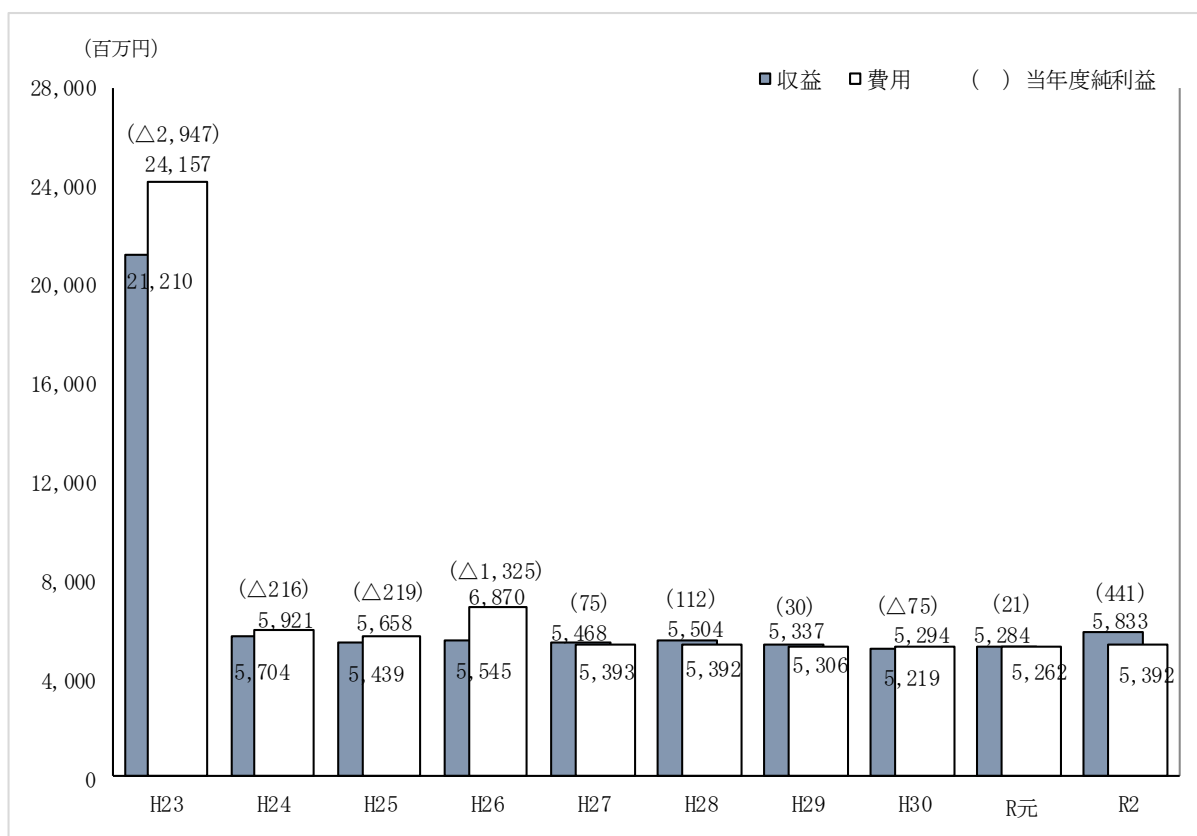
貸借対照表<B/S> (令和3年3月31日現在)

(単位：千円、%(構成比))

資 産		負債・資本	
固定資産	8,207,577 (83.9%)	固定負債	12,112,083 (123.8%)
		流動負債	1,267,813 (13.0%)
		繰延収益	3,497,687 (35.8%)
		資本金	311,410 (3.2%)
流動資産	1,574,017 (16.1%)	剰余金	△7,407,400 (△75.7%)
		資本剰余金	1,371,554
		欠損金	8,778,954

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



5 電気事業の概況

RDF焼却・発電事業については、事業の円滑な終了に向け、関係市町及び関係部局等と協議・調整を行い、RDF処理委託料の清算やRDF焼却・発電施設撤去に向けた取組等を進めました。

RDF処理委託料の第1回清算金300,000千円を特別損失として支払うとともに、令和3年1月28日にRDF焼却・発電施設撤去工事に着手しました。

令和2年度の営業成績について、事業収益は1,774千円（対前年度比0.3%）で、内訳は、営業収益353円（対前年度比0.0%）、営業外収益1,773千円（対前年度比8.3%）であり、事業費用は495,610千円（対前年度比35.7%）で、内訳は、営業費用193,330千円（対前年度比16.9%）、営業外費用2,280千円（対前年度比460.7%）及び特別損失300,000千円（対前年度比122.7%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額493,837千円が当年度の純損失となりました。

令和2年度損益計算書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	193,330	営業収益	1
一般管理費	193,330	その他営業収益	1
営業外費用	2,280	営業外収益	1,773
支払利息	1	受取利息	693
雑支出	2,280	他会計補助金	760
		雑収益	320
特別損失	300,000		
		当年度収益合計	1,774
		当年度純損失	493,837
合 計	495,610	合 計	495,610

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。千円未満の金額は1と表記しています。）

令和2年度損益計算書<P/L> (令和2年4月1日～令和3年3月31日)
(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
<p>営業費用 193,330 (39.0%)</p> <p>営業外費用 2,280 (0.5%)</p>	<p>営業収益 1 (0.0%)</p> <p>営業外収益 1,773 (0.4%)</p>
<p>特別損失 300,000 (60.5%)</p>	<p>当年度純損失 493,837 (99.6%)</p>
<p>合計 495,610</p>	<p>合計 495,610</p>

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。千円未満の金額は1と表記しています。)

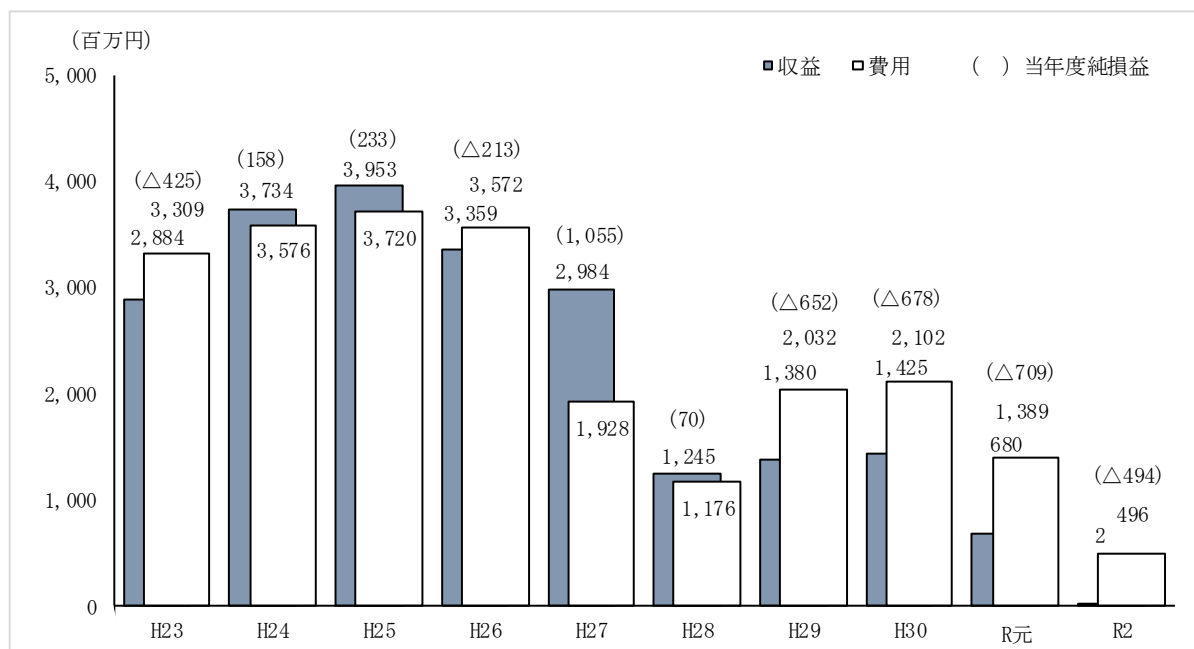
貸借対照表<B/S> (令和3年3月31日現在)

(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
<p>固定資産 364,371 (10.3%)</p>	<p>固定負債 165,931 (4.7%)</p> <p>流動負債 45,670 (1.3%)</p>
<p>流動資産 3,164,276 (89.7%)</p>	<p>資本金 3,810,883 (108.0%)</p>
	<p>剰余金 △493,837 (△14.0%)</p>
<p>合計 3,528,647</p>	<p>合計 3,528,647</p>

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

